

# 自民党総裁選 白熱した議論を

## 福田康夫首相が辞意を表明しました

9月1日福田康夫首相が突然辞意を表明しました。昨年の安倍晋三前首相に続きこの2年間で2人の首相が就任後約1年で退陣することになりました。いかなる理由があれ、このような事態が続いてしまったことに対し自民党全体が深く反省し、国民に皆さんに対して真摯にお詫びを申し上げます。

その一方で、ガソリン価格の高騰、食料品等の物価の上昇、景気の後退、年金や医療保険制

度、インド洋での対テロ補給活動の継続等政治が取り組むべき喫緊の課題が山積しており、早急に次の総理大臣を選出し、これらの課題に取り組む必要があります。



自民党の総裁選は9月22日に投開票が行われます。現在、麻生太郎

(裏に続きます)

自民党幹事長が正式に自民党総裁選への出馬を表明しています。麻生幹事長は3回連続、4回目の自民党総裁選への出馬です。

おこのぎ八郎さんは前回昨年の総裁選に続いて今回も麻生氏を支持しています。麻生氏を支持する理由について、おこのぎ八郎さんは、「アメリカの景気後退やガソリン価格の高騰等もあり、日本も景気が後退している。このまま手をこまねいては、改革の芽が出る前に日本はまた深刻な不況に陥る可能性がある。そのような状況の中で麻生氏が主張する景気対策、経済政策には同意できる部分が多くある。」と述べ、さらに、「もともと教育問題等でも麻生幹事長とは考え方が近い。少子高齢化が進む日本では、今後いかに優秀な人材を多く輩出できるかにかかっている。そのためにも教育問題にはもっと積極的に取り組む必要があることをこれまでの活動の中で常に訴えてきた。特に人格形成に大きな影響を与える幼児教育にはもっと力を入れるべきで、その時期にしつけや豊かな心を養うことや、基礎的な学力を十分に身につけることが極めて大切だ。」と述べ、「考え方の近い麻生さんと一緒に教育政策を進めて行ければ良いと思う」と述べた。「それにね」とおこのぎ八郎さんは続け、「今は補給支援活動特措法の継続問題もある。日本は国際社会の中でしっかりと責任を果たしていくべきだと思う」と懸案となっているインド洋での海上自衛隊による対テロ支援補給活動の継続についても触れた。最後におこのぎ八郎さんは、「そもそも最初に麻生さんが立候補した2001年の総裁選の時にも、私は麻生さんを支持していた。あの最初の総裁選から昨年行われた前回の総裁選まで麻生さんは立候補を重ねる毎に支持を増やしてきた。麻生さんの考え方が浸透してきたということだと思うし、諦めないで続けてきた信念には敬服する」と述べた。

**おこのぎ八郎**さんを支援する会

横浜市神奈川区反町1-7-1

TEL:045(323)6000

FAX:045(323)2974